

② 町長施政方針

伊勢町長より、今年一年間の基本方針、政策についてお話しします。

「町民のみなさんへ」

全国の自治体の約半分が「将来削減する可能性がある」と指摘される状況にあるなか、本町では「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、雇用の創出、子育て、健康長寿などの政策を通して、持続可能なまちづくりに取り組み方針です。

また、昨年11月に策定した「大河原町新・行財政改革大綱」に基づき、さらなる住民サービスの向上と確かな行政基盤の確立に向けて、たゆまざる行財政改革を行っていきます。そして開かれた先進のまちを目指し、私のモットーであります「町民の声が届く町政」運営と「希望と誇りを持って暮らせる福祉のまち」づくりに、これまで以上に努めます。

それでは、平成27年度の基本方針の内容について、長期総合計画の6つの基本方針に基づいてご説明します。



役場敷地内設置の電気自動車充電設備と電気自動車

環境、安全、おつきあい、身近を大切に
住民自治のまちづくり

① 生活環境、住民自治

(1) 地域コミュニティ

「大河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に際し、「衆知を集める町政」のため、より多くの町民の意見を伺うとともに、行政懇談会などを通して地域の課題解決に向け積極的に取り組みます。

(2) 環境政策

地球温暖化や化石燃料への過度の依存などの環境問題に対応するため、再生可能エネルギーの普及・促進に積極的取り組みとともに、関連企

業や研究所などを町内に誘致し、広域政策連合及び林業の6次産業化並びに創造的復興を目指します。

また、総合体育館、金ヶ瀬公民館及び金ヶ瀬中学校体育館の公共施設へ太陽光発電・蓄電池の整備を図ります。

一般家庭についても、次世代型住宅推進事業として太陽光発電・蓄電池及びエネファーム等の設置導入に引き続き補助を行い、災害に強いスマートハウスの普及に努めます。

(3) 環境衛生

ごみの分別や3R運動(リデュース・リユース・リサイクル)を進め、ごみの減量化を図ります。また「衣類回収」や「小型家電の回収」をおおがわら町民学園対象事業として実施します。

(4) 放射能対策

本年度も学校や保育所の給食の食材検査、公共施設の空間放射線量の測定を実施し、安全性の確保に努めます。

(5) 交通安全対策

交通死亡事故ゼロ継続に取り組みます。また、道路照明灯LED化などを通して歩行者の安全確保を図ります。

(6) 防犯対策

防犯協会及び防犯指導隊を中心に、各地区の自主防犯ボランティア組織や警察署等の関係機関と連携し、安全で安心して暮らせる環境の整備に努めます。

(7) 消防防災と地震対策

「町域防災計画」により防災体制や防災教育の強化、災害時の相互応援体制の整備などに努めます。また、緊急防災情報等の発信手段として中央公民館に設置した「デジタルサイネージ」を活用します。地震対策としては、「耐震診



3月に開所した仙南夜間初期急患センター

みんなで拓き、つなぎあう、支えあいの健康福祉づくり

② 健康福祉

(1) 健康づくり

「おおがわら町民学園」対象事業に各種健康診査、がん検診、地区健康教室を加え、健康づくりの促進と検診受診率の向上、地区組織活動の充実

断助成事業や「避難弱者耐震改修事業」、「特定地域耐震改修事業」を行うことにより、災害に強いまちをつくります。

(8) 情報共有

ホームページや広報紙による町の情報発信とともに、電子メールや「町政ご意見箱」を通して町民の声を吸い上げます。

(9) 住民参加と自治

町の計画策定時等の公募町民の募集を始め、住民懇談会の

企画など町民の声を町政に反映させる仕組みを構築します。また、住民自治基本条例について、時間をかけて制定の必要性、手法などの研究を継続していきます。

(10) 国際交流による人材づくり

学校教育での外国語指導助手招致事業(JET)をはじめ、小学校児童を対象に在日留学生等との国際理解と異文化に親しむ機会を確保します。

を図ります。

また、中学3年生のインフルエンザ予防接種無料化や不妊治療中の夫婦への助成を行います。

さらに、本年度から「妊婦歯科健康診査」事業を実施し、歯周病予防など、口腔の健康に対する啓発に努めます。

このほか、食育推進計画の評価と課題の把握を行い、次期計画を策定します。

(2) 医療体制の充実

「仙南夜間初期急患センター」運営により平日夜間の初期救急医療に対応し、地域医療の初期から三次医療まで切れ目のない体制の充実に努めます。

【分野別】
新年度の主な
事業と予算額
その1

① 生活環境、住民自治関係事業

- ① 集会所維持管理事業……………1,338万円
28か所の集会所維持管理費に加え、新たに行政区で集会所にエアコンを設置する際に補助を行う「集会所エアコン設置補助金」を創設しました。
- ② 西原集会所整備事業……………7,993万円
老朽化が進んだ西原集会所を新築。敷地も狭く借地であったため、用地を別に求め、駐車場を含め整備します。
- ③ 橋本交流センター整備事業(防災広場)……………500万円
2月に開所した橋本交流センターの向かいに、防災訓練や避難ができる防災広場を整備。広場への通路の整地及び簡易な遊具を設置します。
- ④ 仙南地域広域行政事務組合負担金(衛生費)……………5億1,542万円
●(仮称)仙南クリーンセンター負担金……………4億1,463万円
●大河原衛生センター負担金(4,746万円)
●仙南最終処分場負担金(9,003万円)
●動物焼却施設負担金(18万円)
●仙南リサイクルセンター負担金(1,406万円)
- 柴田斎苑負担金(696万円)
●し尿処理施設負担金(2,310万円)
●再生可能エネルギー等導入事業……………1億3,665万円
●金ヶ瀬中学校屋内運動場太陽光発電設備設置(3,296万円)
●総合体育館太陽光発電設備設置(6,464万円)
●金ヶ瀬公民館太陽光発電設備設置(3,906万円)



(仮称)クリーンセンターの完成イメージ

橋本交流センター



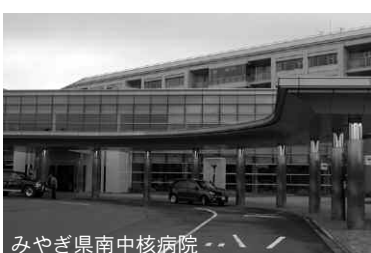
演習を重ね非常時に備える町消防団

○このほかの環境、住民自治関係事業(単位:万円)

行政区運営事業	3,876
ごみ収集運搬委託事業	3,865
次世代型住宅(スマートハウス)推進事業	400
放射能対策事業	340
交通安全推進事業	1,187
交通安全施設整備事業	1,556
仙南地域広域行政事務組合消防費負担金	22,925
消防団等運営事業	2,921
居掛防火水槽撤去及び駐車場整備	350
指定緊急避難所看板・表示設置	114
地震防災対策事業	290
地域イントラネット維持管理事業	1,501
広報発行事業	458
元気なまちづくり活動支援事業	50
仙南地域広域行政事務組合総務費負担金	3,152

② 健康福祉関係事業

- ① 中学3年生インフルエンザワクチン接種事業……………90万円
受験を控える中学3年生に対し、インフルエンザワクチン接種の無料化を行い、体調を万全にして受験に向かってもらう支援を行います。
- ② みやぎ県南中核病院関連事業……………5億8,826万円
町民が安心して医療を受けられるための病院運営に対する建設整備、管理運営、救急医療、医療機器更新などの構成市町としての負担金。
- ③ 仙南夜間初期急患センター事業……………3億7,877万円
地域医療の充実を図るため、平日夜間の初期救急外来として診療所を運営します。
- ④ 子ども・子育て支援関係給付等……………4億2,059万円
●子ども・子育て支援施設型給付費……………3億2,695万円
●保育所等での保育に対する給付。



みやぎ県南中核病院